

都市の読解に関するおもな和文参考文献

『日本の都市空間』都市デザイン研究体、彰国社、1978年

1. 都市デザインの方法
2. 形成の原理
方位／重疊／布石／天地人／真行草／さおび／ま／かいわい
3. 構成の技法
あられ／千鳥掛け／折れ曲がり／歪み／凹み／隅違い／隅掛け／障り／盗み／生けどり／男坂・女坂／見えがくれ／ひもろぎ空間
4. 要素の作用
座の要素（したがえる・くぎる・かこむ・つなぐ・ささえる・おおう・きめをつくる）／演技の要素／効果の要素／ひきたてる／あやをなす／しるべとなる／象徴となる
5. 実例の検討
集落型／密教型／城郭型／塔頭街型／枝割型／阿弥陀型／弓張型／格子割型
6. 表現の技法

『集落の教え 100』原広司、彰国社、1998年

「1 あらゆる部分

あらゆる部分を計画せよ。あらゆる部分をデザインせよ。

偶然に出来ていそうなスタイル、なにげない風情、自然発生的な見かけも、計算しつくされたデザインの結果である。

5 すべてのもの

すべてのものにすべてがあるのだから、どんな小さなものでも世界を表現できる

11 大きな構想

大きな仕掛けは、大きな構想を支える

大きな仕掛けは、小さな部分によって支えられる

大きな構想が、そのまま実現されれば、退屈な集落となる

13 複雑さ

複雑なものは単純化せよ。単純なものは複雑化せよ。

その手続きの複雑さが人の心をうつ。

16 共有するもの

人間が意識の諸部分を共有するように、諸部分がそれより小さな諸部分を共有するようにして、集落や建築をつくれ。

この方法が幻想的な世界の基礎である。

みんなできくらねばならない。みんなでつくってはならない。

21 集落

集落は物語である。集落の虚構性が、現実の生活を支える。

29 死

死者とともに生きよ。

30 呼吸

自然の呼吸に合わせて、集落や建築の呼吸を計画せよ。

42 方位あるいは方向

聖なる方向を設定し、物事の配列の根拠にせよ。

48 地形およびその特異点

地形は、建築や集落にとって最大の潜在力である。地形の願望を満足するように、建築や集落をつくれ。

特に、地形の幾何学的な特異点を活用し、意味づけよ。

建築は新しい地形である。

55 島

不思議なことに、いずれの集落も島である。

60 かげろう

かげろうのように、集落をつくれ。

遠方から集落に近づくにつれて、次第に事物の個別性が明らかになるように、形象を位階づけよ。

71 遠くから、近くから

遠くからは、辺りに溶け込む姿をもて。
ちかくからは、辺りから際立つ姿をもて。

74 小刻みな変化

時間にせよ、空間にせよ、変化は小刻みである。

86 事物の距離

事物が感応しあうように、距離を保て。

91 装飾

装飾は、あってもよいし、なくてもよい。少なくともよいし、多くてもよい。
しかし、集落や建築自体が、風景のうえからすると、自然に対する装飾である。

96 広場

広場は、共同体の制度を表現する。」

『図説城下町都市』佐藤滋+城下町都市研究体、鹿島出版会、2002年、2015年（新版）

城下町都市の都市空間ヴィジョン

近世城下町の都市デザイン手法

城下町都市絵図 57

解説から都市デザインへ

『港町のかたち その形成と変容』岡本哲志、法政大学出版局、2010年

1. 舟運ネットワークと近世港町 序論として
2. 古代港町のかたちを求めて
3. 古代から中世への変化
4. 中世から近世への変化
5. 近世の港町のかたち
6. 近代港町の変容プロセス

『まちの見方・調べ方 地域づくりのための調査法入門』西村幸夫・野澤康編、朝倉書店、2010年

第I部 事実を知る

1. 歴史を知る／2. 地形を知る／3. 空間を知る／4. 生活を知る／5. 計画・事業の履歴を知る

第II部 現場に立つ

6. 現場で「見る」「歩く」／7. 現場で「聞く」／8. ワークショップをひらく／9. 地域資源・課題の抽出

第III部 現象を解釈する

10. 統計分析のための手法と道具／11. 住環境・景観を分析する／12. 地域の価値を分析する／
13. GISを用いた分析

『図説都市空間の構想力』東京大学都市デザイン研究室編、学芸出版社、2015年

序章 都市空間の構想力とは何か

第1章 大地に構える

第2章 街路を配する

第3章 細部に依る

第4章 全体を統べる

第5章 ものごとを動かす

第6章 時を刻む

(参考)

『都市保全計画 歴史・文化・自然を活かしたまちづくり』西村幸夫、東大出版会、2004年

序章 都市保全計画とは何か

第I部 日本の都市保全計画

第1章 日本における歴史的環境保全の歴史／第2章 都市保全計画の実際

第I部 世界の都市保全計画

第3章 諸外国の都市保全計画／第4章 国際協調による都市保全